

柏をつくる若者のコミュニティー



We are

Peace Makers!!

発行者/代表: 井手誠一郎 発行日/2008.9.16(火) No.21 08年 9月号

内容

- 2面: 夏ボラの感想、Clean & Cheer up Kashiwa キャンペーン、ハートかしわ納涼祭、寄稿「柏への想い」
3面: 柏日体高校とのコラボ清掃、柏祭り、しこだっ子夏祭り
4面: 賛助会員インタビュー、お知らせ

チャレンジプロジェクト2008 夏休みボランティア体験!!

2008年より、私たちPeace Makersは「チャレンジプロジェクト2008」という通年プロジェクトを立ち上げ、様々な形で体験ボランティアの受け入れを積極的に行っています。私たちは、参加者一人ひとりが、体験ボランティアを通じて、日常生活では得ることのできない多くの「気づき」を体感し、それが成長のきっかけとなれどと考えています。また近年、多くの学校が夏休みの体験ボランティアに取り組み始めており、私たちの団体にも体験ボランティアについての問い合わせが徐々に増えています。そこで今回私たちは、柏市内の中学・高校の生徒の皆さんを『夏の体験ボランティア』として受け入れることとなり、7月20日以降、約1ヶ月間、清掃活動や施設訪問などに体験ボランティア希望の中高生が多数参加しました。

毎週日曜日の清掃活動の集合場所である市民活動センターは、いつもよりも平均年齢が若く、活気に溢れていま

た。夏休みの中盤には参加者が30人を超え一つのクラスができそうな…そんな日もありました。中学生たちは慣れない雰囲気緊張している子もいましたが、お互い笑い合って何やらすごく楽しそうな様子。同じ運動部の友達やクラスメイトなど顔見知りの子も多かったのか、お喋りをしながらリラックスしていました。集まった学生たちはまず、ゴミ拾いに向けて分別の方法や拾い方の説明を受けます。そして、欠かせないのはチームの目標。清掃をはじめの前に必ず目標を設定します。目標を決めることで、終わりの見えない清掃活動でも達成感を得ることが出来るのです。

参加した学生さん達は暑さなどおかないしに元気な声で挨拶をしながらごみを拾っていました。さすがに初めてのゴミ拾いで街行く人たちとの挨拶まで完璧にこなすのは難しかったのか、照れてなかなか挨拶できない子もいましたが、一人一人ができる範囲で精一杯頑張っている



姿を見ることが出来ました。またこうした頑張った姿を見て、多くの地域の方々が、「ご苦労様です」「がんばってね」と声をかけてくださり、それを聞いた学生さん達も非常に嬉しそうでした。私たちはこうした体験が参加してくれた学生にとって新たな発見、そしてさらなる前進のきっかけになればと考えています。

清掃が終了すると、お互いに感想や意見を交換します。今回の清掃活動では、中学生が元気よく挨拶をする姿が印象的でした。Peace Makersのメンバーも中学生の姿を見て「私たちも見習わないと…」と感じたようです。

夏の体験ボランティア最終日には、近隣住民の方が「お疲れ様！」と飲み物を

夏休みボランティア体験の感想

とっても楽しくて、たばこの取り合いになってしまった。

挨拶をして返してくれたとき、すごく嬉しかった。

はじめてだったけど、思ったよりもゴミが多くて、目に付かない場所にごみが多くあったりして、とってもびっくりしました。



プレゼントしてくれるという嬉しいサプライズもありました。私達の活動が多くの地域の人々の目に見守られて成り立っているということを改めて実感する機会となりました。まだまだ私たちの活動は始まったばかり。私達若者が率先して柏の街をつくる。この柏市を皆さんにとってより住みよい街とするために、今年、Peace Makersはこの「チャレンジプロジェクト2008」を通して、大きく飛躍します！

柏をつくる若者の コミュニティー

- 柏市全体に思いやりの文化を広げる
- 率先して柏市にあたたかい未来を築く
- 大きな夢を持つ社会のリーダーになる

若者が柏市を創る…これが、私たちのコンセプトです！柏市の皆さんが心身ともにより住みよい柏を創るために、これからもがんばっていきます！

こんな感想も寄せられました・・・

僕の住んでいる町は松戸ですが、柏には高校時代にお世話になったため、何かできることがあればと思っていたところ、お友達が大学の課題でボランティアに参加すると聞き、戸惑いつつも参加を決めたのが、そもそものきっかけでした。

この活動はとても勉強になりました。普段見られないものをはっきりと見ることができました。一見ゴミが少ないように見える道にも、草むらや排水溝を覗くとかなりのゴミがありました。特にやはりタバコですね。排水溝はひどかったです。使用済みタバコをごっそりと回収できましたね。しかしまだ回収しきれなかったものがかなり。駅周辺だけで、あれほどのゴミがあるとは思いませんでした。これは柏だけではないと思います。地元の松戸も同様、また

はそれ以上にゴミが存在するのかもしれない。さらに、全国的に「隠れたゴミ」はいくつ存在するのか見当がつかないほどです。それほど人はゴミをそこらへんに捨ててきたということですね。

僕が昨日の活動を通して感じたことは、現代の人は、表面に重点を置きすぎているのではないかということです。つまり、「表面さえよければ、中身はどうだろうと構わない」という考えが、少なからず人の心に存在しているのではないかと、感じてしまいました。「外見で人を見る」というのと同様に、「外見で街を見る」という意識が、人に芽生えてしまった恐れがあることを、痛いほど感じました。

しかし、そのような人ばかりではないとも感じました。道端で私達に挨拶を返してくださる方々が、「御苦労さまで

す！」と一言くださったことが多々あり、とても嬉しく、同時に、僕たちの活動に共感してくださる方がいらっしやることに、とても感動いたしました。きっと環境を大切にしていっしやる方ではないかと信じております。長くはなりませんが、僕がこの活動で感じた様々なことをぜひお伝えしたくて。皆様には、色々とお世話になりました。本当に短い時間でしたが、参加させていただき、本当にありがとうございました。参加した他の友人3人も、とても有意義な活動をすることができたとしております。お役に立てたかはわかりませんが、また機会があれば、再び参加を希望したいです。僕たちも、ゴミだけではなく、環境を大切にしつつ、有意義な毎日を送れるようがんばります。

皆様も、今後の活動もがんばってください！！(大学生・男性)

Clean & Cheer up Kashiwa キャンペーン [そごう柏店前にて] (共催: Dream Works)

6月15日(日)、そうです！今日は『父の日』です。そんな父の日にちなんで、そごう柏店前のダブルデッキ上では“父の日ライブ”が行われました。この企画を提案したのは、なんと!!某公立高校のK先生!!試験の採点など、お忙しい中、まちの為に、そして、お父さんたちの為に...と考えた企画です。3時間の野外ライブ(懐メロ、ジャズ、ラルク)とライブ観客を集めての駅前清掃。このライブには、ライブ後の駅前清掃をきっかけに、ボランティアや市民活動に少しでも関心をもっていたらなあという思いも込められています。小学6年生の2人の女の子をはじめ、5人の参加者の方々が一生懸命にゴミを拾っている姿が印象的でした。柏が綺麗な街になるために、私たちはこれからたくさんの方々に呼び掛けていきます!!『皆さん!!ゴミはゴミ箱へ。綺麗な街を作りましょう!』

納涼祭 in ハートかしわ

8月24日(日)、ハートかしわ(高齢者施設)の納涼祭に参加しました。あいにくの雨でしたが、納涼祭は盛り上がりました。中庭では、「いらっしやませえ〜」の元気な掛け声!!室内では、音楽と和太鼓の音に合わせ、ボランティアさんと利用者の方が柏踊り等の盆踊りをしていたり、バザーを見たりと、楽しんでいました。PMsのメンバーは駐車場と中庭の売り子等をお手伝いさせていただき、私たちも楽しんでやらせていただきました。ある利用者の方は家族と飲み食いしながらお話をし、とても楽しそうに過ごしていました。やっぱり家族はいいですね。納涼祭後、食事をしながら感想会。PMsの皆はボランティアをしながら心も暖まり、さらにお腹いっぱいになって帰ってきました。ハートかしわの施設長さんをはじめ、施設の皆様!!いつも優しく接していただき、また、たくさんのお食事をありがとうございます。そして、利用者の皆様!!これからもお元気でいてください。またお会いしましょう。

「柏への想いを語る」 vol.1

僕は柏のまちに生まれ育った。しかし、中学・高校時代は、特に「まち」に関心を持つことはなかった。思ってみれば、視野も狭かったように思う。どんな大人になっていったらいいのか、素朴に疑問を持っていた。

そんな自分が今、ボランティアを通して「柏の若者を元気にしたい!」という夢を実現したいと思っている。なぜ、ボランティアか。それは、健全な人と人との関係性、コミュニケーションが今の世の中に最も必要だと思うからである。「相手の立場に立って考え、思いやる心が大事」とは、子どもの頃から何回も聞いてきた。しかし、聞くだけでは何も変わらない。僕は、ボランティアや市

民活動を通して、地域コミュニティの中でそれらを実際に「体験」し、感じ取ることが大事だと思っている。活動を通して、まちを大きな家族のようなところだと感じるができるようになれば、自然と事件や葛藤はなくなっていくのではないか。

また、僕が好きな人物の中に、坂本竜馬がいる。彼は、「藩」という視野を超えて、「日本」という大きな視点で未来を考えた。僕は今こそ、彼のような若者がまちづくりに積極的に参加すべきだと思う。首相が退陣し、日本が行くべきビジョンが見えないこの時代にあって、柏から世界を見据えて生きる若者を狙いたい! Peace Makersはそのような大きな夢を持つ若者のリーダーの集まりでありたいと思っている。



事務局長 小溝 敏央

(こみぞ としひろ)

PMsにとっての柏祭り

皆さん、地球温暖化って、ご存知ですよね。待ったなしの地球温暖化問題。深刻な問題となっている地球温暖化。今回私達は、地球温暖化への対策の一つであるCO₂の削減に多くの市民の方々の協力を得ようと、環境保全課の皆さんと共に、柏祭りの会場でティッシュ配りなどを行いました。会場では、「CO₂削減の宣言書」を市民の方々に作成していただきました。既に、自ら様々な取り組みをしている方も多く、市民の皆様意識の高さを実感した1日でもありました。こうした体験を通して、メンバーから出た感想のひとつをご紹介します。

「一緒にCO₂を削減していきましょう！」という意気込みで、ティッシュ配りをしました。私自身、以前から、季節の変わり目や日差しの感じなど、環境について、毎年毎年変わっていく、おかしいな、と感じるところがあり、不安でもありました。本当に地球はおかしくなってきたと感じてしまうこともありました。CO₂を削減することを少しでも多くの方がやってくれたら、

少しずつでも変わっていくだろうなと思っていたこともあったので、今回このような活動に参加できて本当に良かったと思います。ティッシュ配りをしたことで、様々な世代の方や、少しでも多くの方にCO₂削減を意識してもらえていたら嬉しいです。また、「私こんなことしているのよ」と話して下さる方もいました。みなさん色々エコしているんですね。

ということで、私もここで宣言します。1)できるだけ冷房は使いません。暑さの限界を越えたら図書館などに行き、少しでも使わないようにします。もし使ったとしても温度高めです。2)エコバック買います。3)近場は自転車で行きます。4)コンセント抜きます。 などなど、書いたらきりがありませんが。みなさん一緒に頑張りましょう。また、今回私の母校の後輩も参加してくれ、このような活動を後輩と一緒にできるなんて、嬉しいです。笑顔で頑張ってくれていました。また新しい出会いが増えました。またちょくちょく来てね!!

もう一つの夏祭り in しこだ児童センター

7月20日、しこだ児童センターにて、職員の方々と共に、夏祭りを開催しました。水風船や折り紙、空き缶積り的あてなど、様々なコーナー目当てにたくさんの子供たちが集まりました。そして、PMs期待のユニット、「まったり」のデビュー企画も(笑)。メンバーの間では、以前から「児童センターに行きたい」といった意見があり、今回このように地域の子供たちのために夏祭りを作り上げることができたことをとてもうれしく思っています。お祭り当日には高校生のボランティアの皆さんも加わり、なんとか無事開催することができました。そしてお祭りの終了後、職員の方が「先輩後輩の関係で話をしている姿を見て、い



ろんな人が出会えて本当に良かったなと思いました。皆さん、子どもを盛り上げるのが上手で、すごく感謝しています。ありがとうございます。そして、地域の人たちが来てくれて、『こんな若い人どこから集めたの?』なんて言われたり。また来年もやってもいいかな?なんて。こんな施設があるということを知りたがる人にもっと知らせてくれるといいなと思います。」と締めくくってくださり、PMsにとっての初めてのお祭りは大成功で幕を閉じました。

柏日体高校とのコラボ清掃 第二弾

7月15日、柏日体高校の生徒さん達と2回目となる柏駅前での清掃活動を行いました。なんと今回の参加人数は、およそ60人。生徒会や様々な部活から心ある有志の皆さんが参加してくれました。そして、今回非常にうれしかったことは、「先生、あの清掃活動は今度いつやるんですか」と前回清掃活動を体験した生徒さん達から声がかかったこと。こういう声が、本当にうれしいですね。私達が活動をしてよかったと思う瞬間です。PMsのメンバーと柏日体の先生方がチームのリーダーとなり、各チームで決めた「笑顔とあいさつ」など、目標を意識しながらの清掃活動でした。清掃後には、街ゆく人との挨拶のことなど、それぞれが感じたことを発表し合いました。もちろん、大量のごみについての話題も(笑)。

柏日体高校の先生方、そして生徒の皆さん、本当にありがとうございました。また近いうちに第三弾、ぜひ実施できたらと思っています。



祝！！ 賛助会員 第1号！！ ～会員さんの想いを聞いてきました～

Q. Peace Makersに興味を持ったきっかけをお聞かせ下さい。

A. Peace Makersの存在を知ったのはちょうど1年前ですね。私自身、たばこについては色々と思うところがあり、私なりの意見を持っているのですが、たまたま地域の新聞でたばこの数を数えながら清掃活動をしているPeace Makersさんの紹介を目にしました。その新聞を取って置いたんですね。なかなか私からアプローチするようなことはありませんでしたが、今回、柏祭りでTシャツの作成に協力することになりまして…。当初、賛同して下さっていたのは飲食店や美容室など柏で生活を成り立てている企業の方々が多かったのですが、柏の街を下で支えているPeace Makersさんのような団体にも参加してもらいたいと思いました。その後、担当者の方に了承を得て、取って置いた新聞に載っていた連絡先に電話を、というわけです。

Q.たばこについてはご自身のお考えがあるとのことですが、どのようなお考えをお持ちですか？

A. 基本的にタバコが好きではないですね。私はタバコを吸わないのですが、外見で判断され、始めから吸っていると思われることも多くて…。「吸っていない」といっても「いつ辞めたの？」なんて言われるぐらいで(笑)。私の友達にもタバコを吸っている人

がいますが、私はタバコが嫌いなのであって、基本的に「人は大好き」なんですよ。吸わない立場からすると特に友達など周りの人に注意したりするのはなかなか難しいところもありますよね。でもどこかで勇気を出して言わなければならない、そんな時もあると思うんです。ポイ捨てなど、私も友達に注意するようにしていますよ。でもマナーみたいなものは大人はもちろんです、若い世代からの働き掛けも重要だと思うんですね。そういうところでは、Peace Makersさんのような団体にもっと積極的に発信して欲しいと思いますね。

Q.柏や若者など、廣澤さんの想いについて聞かせて下さい。

A. 私は自宅が柏ではないのですが、柏でお店を持ってもう10年以上になります。柏には学校も多いですし、学生も多い。でも、今も昔も若い世代の人たちに大きな違いはないと思っています。ただ、たばこに関しては、昔は少なくともどこか「悪いことをしているな」といった意識があった。例えば、隠れて吸ったりとか…。でも最近は開き直っているというか、どこかオープンなところがある。確かに時代の流れのような部分はあるのかもしれませんが…。いろいろ考えることはありますが、私のように社会に出て、生活がかかってくると、なかなか思うように動けないこともある。家庭をもてば家族サービスも必要です。私も日曜日などは家族の時間を大切にしていますよ。



今回インタビューに快く応じてくださった…

「ほの字」 店長
廣澤 徹 さん
千葉県柏市柏3-7-16

でもだからこそ、Peace Makersさんのような団体の力を借りて意志だけでも参加したいと思っています。もちろん時間ができれば、ぜひ清掃活動にも参加したいと思っていますよ。お客さんにも興味を持っている方もいますしね(笑)。

廣澤店長！ありがとうございます！！

+広告+ ファミリーかわ前(東口タクシー乗り場前)
花壇リニューアル 第三弾 実施決定！
☆10月8日まで、花壇デザイン募集中！！

各種会員を募集中です！

「私達と一緒に活動してみませんか？」
「私達の活動をサポートしていただけないでしょうか？」
柏に「思いやりの文化」を広げていくために、さらに頑張っていきます。ご協力お願いいたします。

- ◎一般会員・学生会員
- ◎賛助会員・法人会員

詳しくは、ホームページをご覧ください。お問い合わせは、事務局へ！

Peace Makers 事務局

【E-mail】

peacemakers_kcj@yahoo.co.jp

【携帯】

080-6504-0751(小溝)

090-8007-7802(中里)

【HP】

http://pms-kashiwa.org/

【ブログ】

http://blog.canpan.info/peacemakers/

杉山鍼灸治療院

ヘソ按腹法

〒277-0005

柏市柏3-10-20ストーンハイツ501
柏駅東口から徒歩5分(サンサン通り)
電話 04-7166-7551

診察時間 午前9:00-12:00
午後3:00-7:00
日曜日は、午後のみ診察

ほの字

 redlion
team Order Shop

レッドライオン チームオーダーショップ

277-0021 千葉県柏市中央町2-29-101

tel&fax 04-7160-4001

site: http://redlion.main.jp

mail: redlion39@gmail.com

open: 12:00~20:00 日曜日定休